



令和6年9月25日



令和6年上半年の 大阪税関における 関税法違反事件 の取締り状況

お問い合わせ先
大阪税関調査部 特別審理官(第1担当)
☎ 06-6576-3124・3138

大阪税関における令和6年上半期の密輸動向

令和6年1月から令和6年6月に大阪税関管内における不正薬物※1の密輸入事件等取締状況

[不正薬物全体]

摘発件数 **94件** (前年同期比59%増↑) 押収量約 **78kg** (前年同期比59%減↓)

※押収量は速報値(鑑定中で未計上のものあり)

[覚醒剤事犯]

摘発件数 **12件** (前年同期比50%減↓)

押収量約 **22kg** (前年同期比87%減↓)

[大麻事犯]

摘発件数 **26件** (前年同期比136%増↑)

押収量約 **36 kg** (前年同期比441%増↑)

[麻薬事犯]

摘発件数 **35件** (前年同期比94%増↑)

押収量約 **19kg** (前年同期比88%増↑)

[指定薬物事犯]

摘発件数 **19件** (前年同期比217%増↑)

押収量約 **0.4kg** (前年同期比173%増↑)

※1.不正薬物とは、覚醒剤、大麻、あへん、麻薬(コカイン、MDMA等、ヘロイン)、向精神薬及び指定薬物をいう

※2.押収重量は錠剤型薬物を除いたもの

大阪税関における不正薬物等の摘発実績



大阪税関における不正薬物等の摘発実績

年種類		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	(1-6月)	令和6年(1-6月)	前年同期比
覚醒剤	件	16	14	35	37	24	12	50%
	kg	34	83	60	222	174	22	13%
大麻	件	32	18	37	22	11	26	236%
	kg	40	46	62	26	7	36	541%
大麻草	件	27	7	10	12	7	14	200%
	kg	38	3	5	5	5	12	223%
大麻樹脂	件	5	11	27	10	4	12	300%
	kg	2	42	57	21	1	24	1661%
麻薬	件	21	27	32	27	18	35	194%
	kg	20	3	34	19	10	19	188%
	千錠	19	28	25	0	0	3	588%
コカイン	件	4	2	6	4	3	8	267%
	kg	18	0	26	10	4	17	459%
MDMA等	件	9	13	13	9	6	13	217%
	kg	1	2	5	1	0	1	55872%
	千錠	19	28	25	0	0	3	584%
ヘロイン	件	—	—	—	—	—	—	—
	kg	—	—	—	—	—	—	—
その他麻薬	件	8	12	13	14	9	14	156%
	kg	1	0	4	7	7	1	17%
	千錠	—	0	—	—	—	19	全増
向精神薬	件	—	1	—	—	—	—	—
	kg	—	0	—	—	—	—	—
	千錠	—	1	—	—	—	—	—
あへん	件	—	—	—	—	—	2	全増
	kg	—	—	—	—	—	0	全増
指定薬物	件	28	31	16	10	6	19	317%
	kg	3	2	8	3	0	0	273%
合計	件	97	91	120	96	59	94	159%
	kg	96	133	163	270	191	78	41%
	千錠	19	29	25	0	0	3	588%
(参考) 使用回数	万回	186	322	345	797	595	156	26%
銃砲	件	—	—	—	—	10	10	0倍
	丁	—	—	—	—	10	10	0倍
うち拳銃	件	—	—	—	—	10	10	0倍
	丁	—	—	—	—	10	10	0倍
拳銃部品	件	—	—	—	1	1	—	全減
	点	—	—	—	2	2	—	全減

(注)1.税関が摘発した密輸事件の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。

2.覚醒剤は、覚醒剤及び覚醒剤原料の合計を示す。

3.大麻樹脂等は、大麻樹脂のほか、大麻リキッド・大麻菓子等の大麻製品の合計を示す。

4.MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計を示す。

5.その他麻薬には、ケタミン・LSD等が含まれる。

全国税関における不正薬物等の摘発実績

年種類		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	(1-6月)	令和6年(1-6月)	前年同期比
覚醒剤	件	72	95	301	296	221	85	38%
	kg	811	1,014	665	1,978	1,523	814	53%
大麻	件	204	199	138	132	56	157	280%
	kg	126	153	473	142	11	149	13.1倍
大麻草	件	86	94	57	76	39	96	246%
	kg	49	22	315	74	7	103	14.3倍
大麻樹脂等	件	118	105	81	56	17	61	35%
	kg	76	132	157	68	4	46	11.0倍
麻薬	件	167	233	237	234	102	178	175%
	kg	822	61	188	276	90	329	365%
	千錠	90	133	82	36	33	36	109%
コカイン	件	27	34	28	67	35	30	86%
	kg	820	14	49	103	38	235	619%
MDMA等	件	74	81	98	60	30	49	163%
	kg	2	30	94	109	37	79	211%
	千錠	90	130	81	36	33	36	109%
ヘロイン	件	2	—	—	—	—	1	全増
	kg	0	—	—	—	—	0	全増
その他麻薬	件	64	118	111	107	37	98	265%
	kg	1	16	46	63	15	16	106%
	千錠	0	3	0	0	0	0	33%
向精神薬	件	2	6	16	10	8	2	25%
	kg	—	0	0	0	0	—	全減
	千錠	1	1	2	1	1	1	104%
あへん	件	—	1	—	—	—	2	全増
	kg	—	4	—	—	—	0	全増
指定薬物	件	300	302	354	143	94	76	81%
	kg	169	19	19	11	5	7	136%
合計	件	745	836	1,046	815	481	500	104%
	kg	1,928	1,251	1,346	2,406	1,630	1,301	80%
	千錠	91	134	84	37	34	37	109%
(参考) 使用回数	万回	5,530	3,577	2,608	7,024	5,211	3,568	68%
銃砲	件	3	1	6	1	1	11	11.0倍
	丁	3	1	7	1	1	11	11.0倍
うち拳銃	件	3	1	6	1	1	11	11.0倍
	丁	3	1	7	1	1	11	11.0倍
拳銃部品	件	—	1	2	1	1	1	100%
	点	—	1	4	1	1	1	100%

6.(参考)使用回数は、以下の不正薬物について、乱用者の通常の一回分使用料をもとに換算し、合計したものである。

(覚醒剤:0.03g、大麻草:0.5g、大麻樹脂:0.1g、あへん:0.3g、ヘロイン:0.01g、コカイン:0.03g、MDMA等及び向精神薬:1錠)

7.端数処理のため数値が合わないことがある。

8.数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「—」とは全く無い場合を示す。

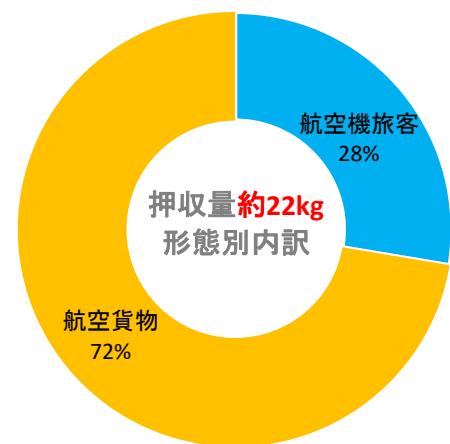
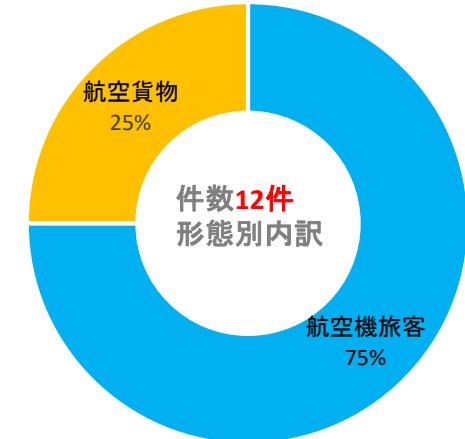
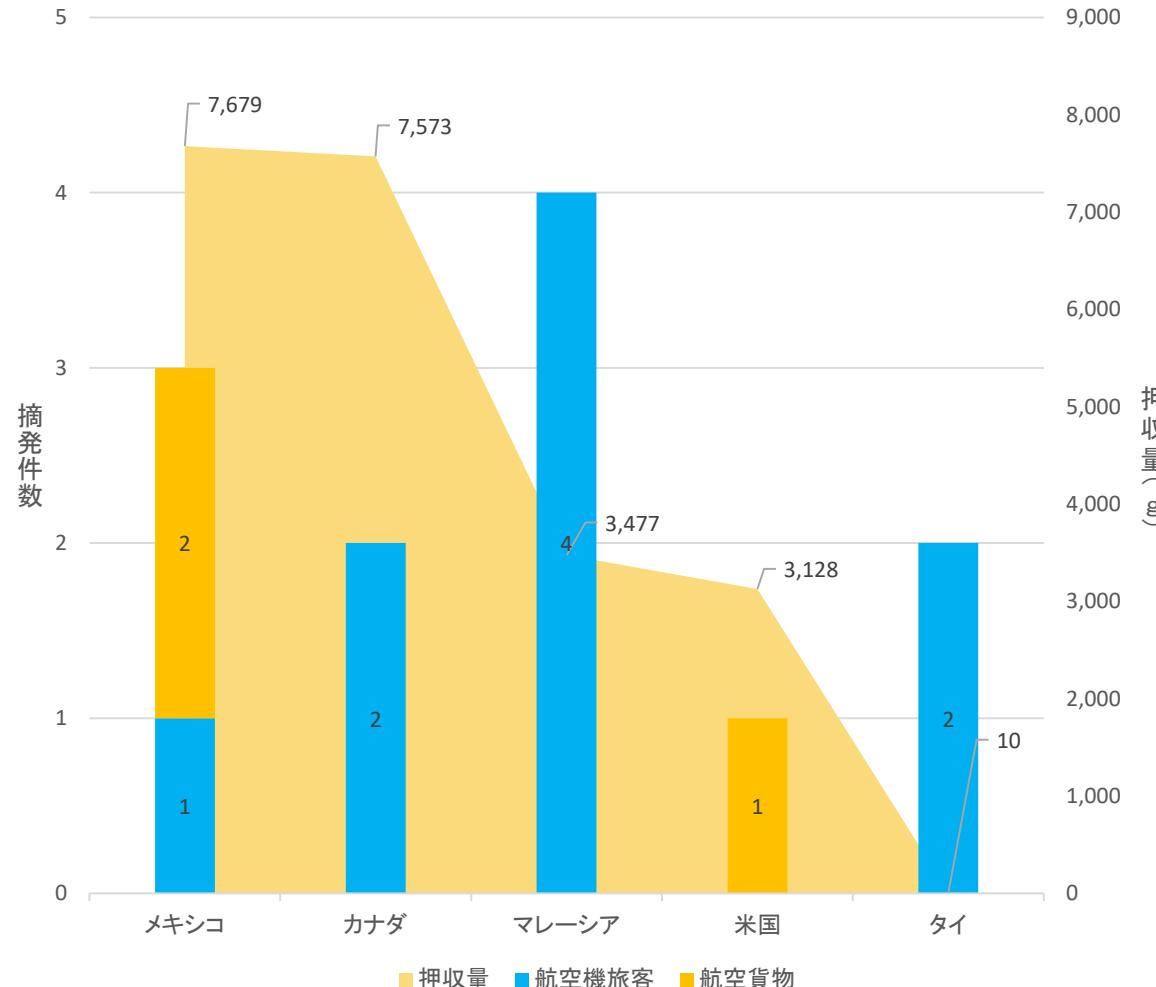
9.令和6年の数値は速報値である。

覚醒剤事犯



押収量はメキシコ來が最多の約7.7kg、件数はマレーシア來が最多の4件
～押収量は航空貨物、件数は航空機旅客による事案が大半を占める～

令和6年 上半期 仕出地別(覚醒剤)

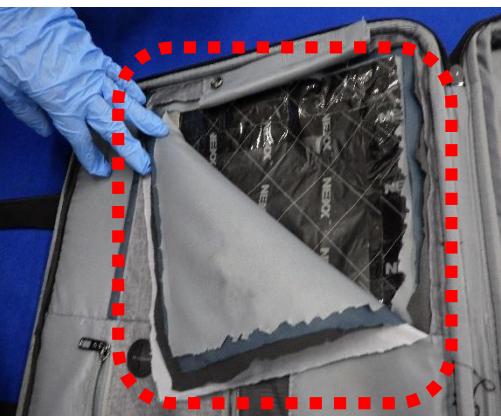
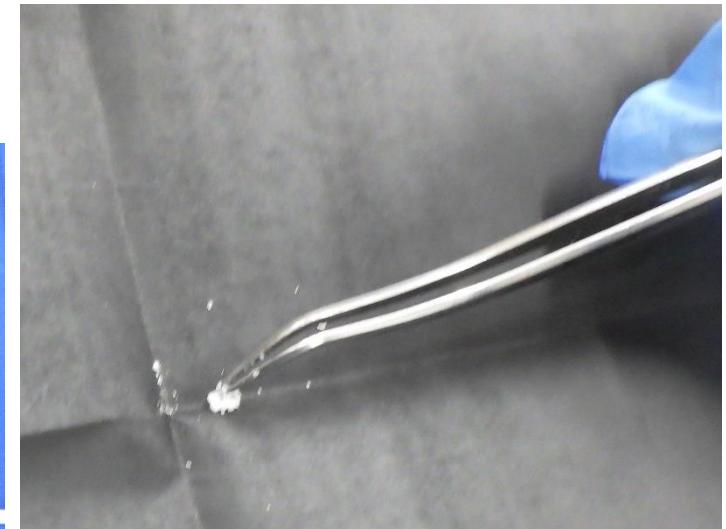


覚醒剤事犯（事例紹介①）

【令和6年1月・関西空港税関支署】



マレーシア来航空機旅客のスーツケース仕切り部分に隠匿された
覚醒剤 約2キログラム を摘発



覚醒剤事犯（事例紹介②）

【令和6年4月・関西空港税関支署】



米国来の航空貨物から、

プロペラシャフト内に隠匿された **覚醒剤 約3キログラム** を摘発

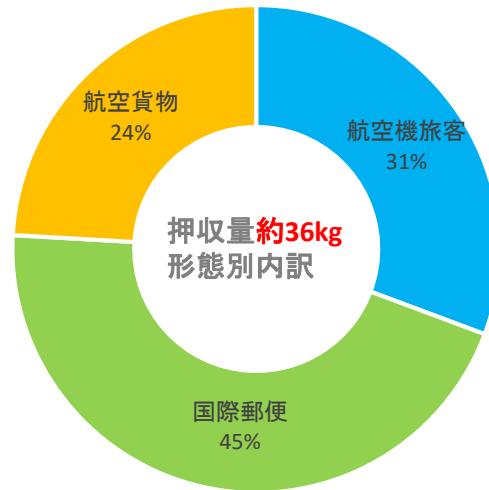
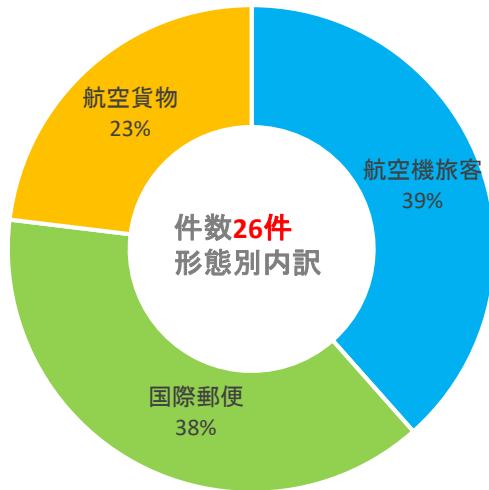


プロペラシャフト内

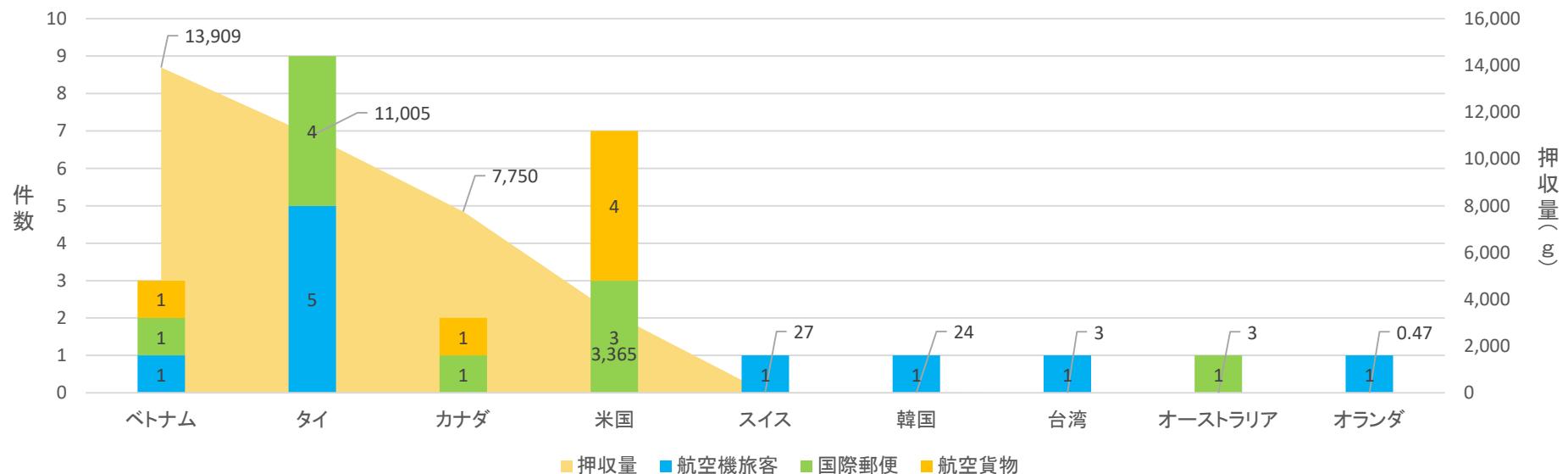


大麻事犯

押収量はベトナムが最多約14kg、件数はタイが最多の9件
～押収量については、国際郵便事案がほぼ半数を占める～



令和6年上半年仕出地別(大麻)



大麻事犯（事例紹介①）

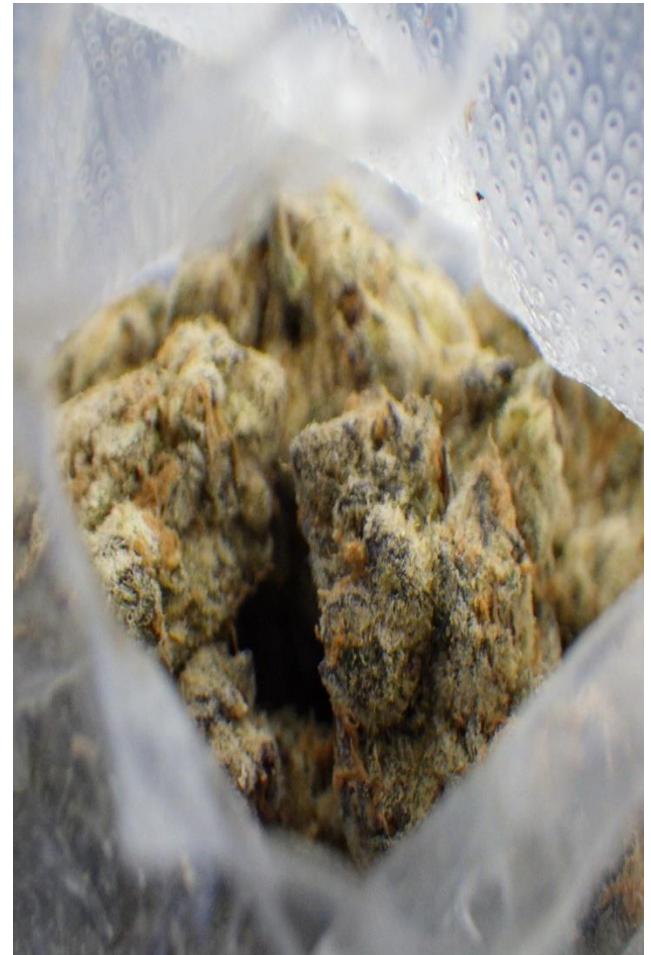
【令和6年4月・大阪外郵出張所】



タイ来の国際スピード郵便物(2個口)から、
バイクシート内に隠匿された**大麻草 約5キログラム**を摘発



バイクシート6個すべてに隠匿



大麻事犯（事例紹介②）

【令和6年5月・大阪外郵出張所】



米国来の小包郵便物から、

キャンディに偽装された**液状大麻 約800グラム**を摘発

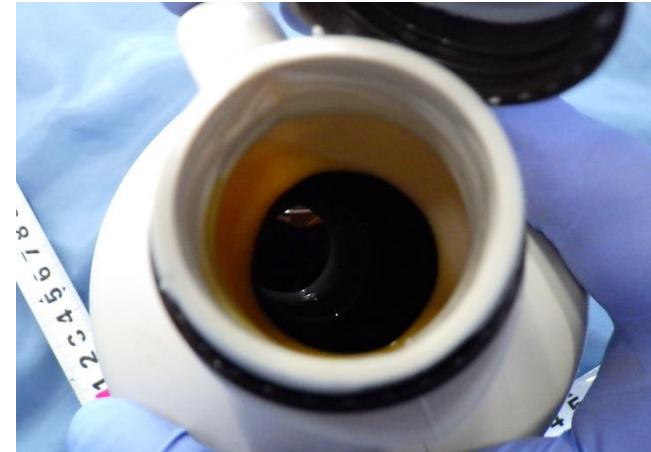


大麻事犯（事例紹介③）

【令和6年6月・大阪外郵出張所】



カナダ来の国際スピード郵便物から、
プラスチックボトルに隠匿された**液状大麻 約8キログラム**を摘発

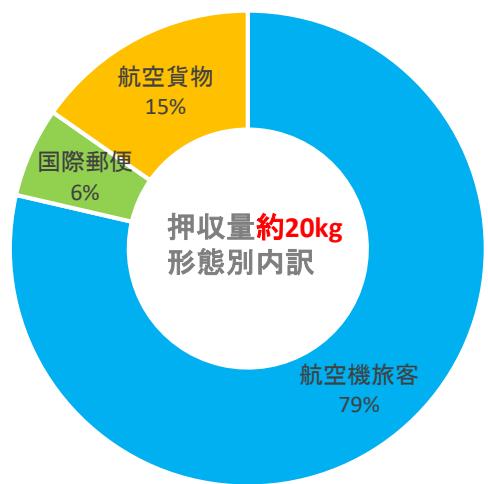
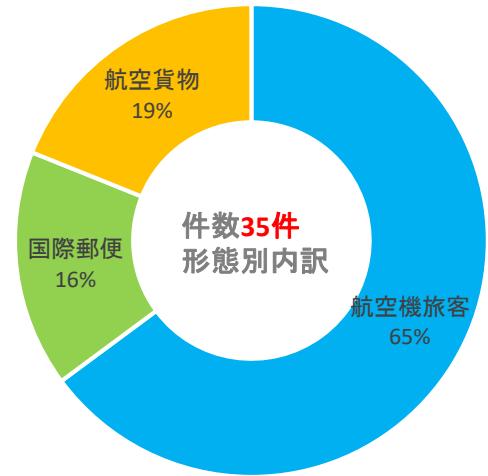
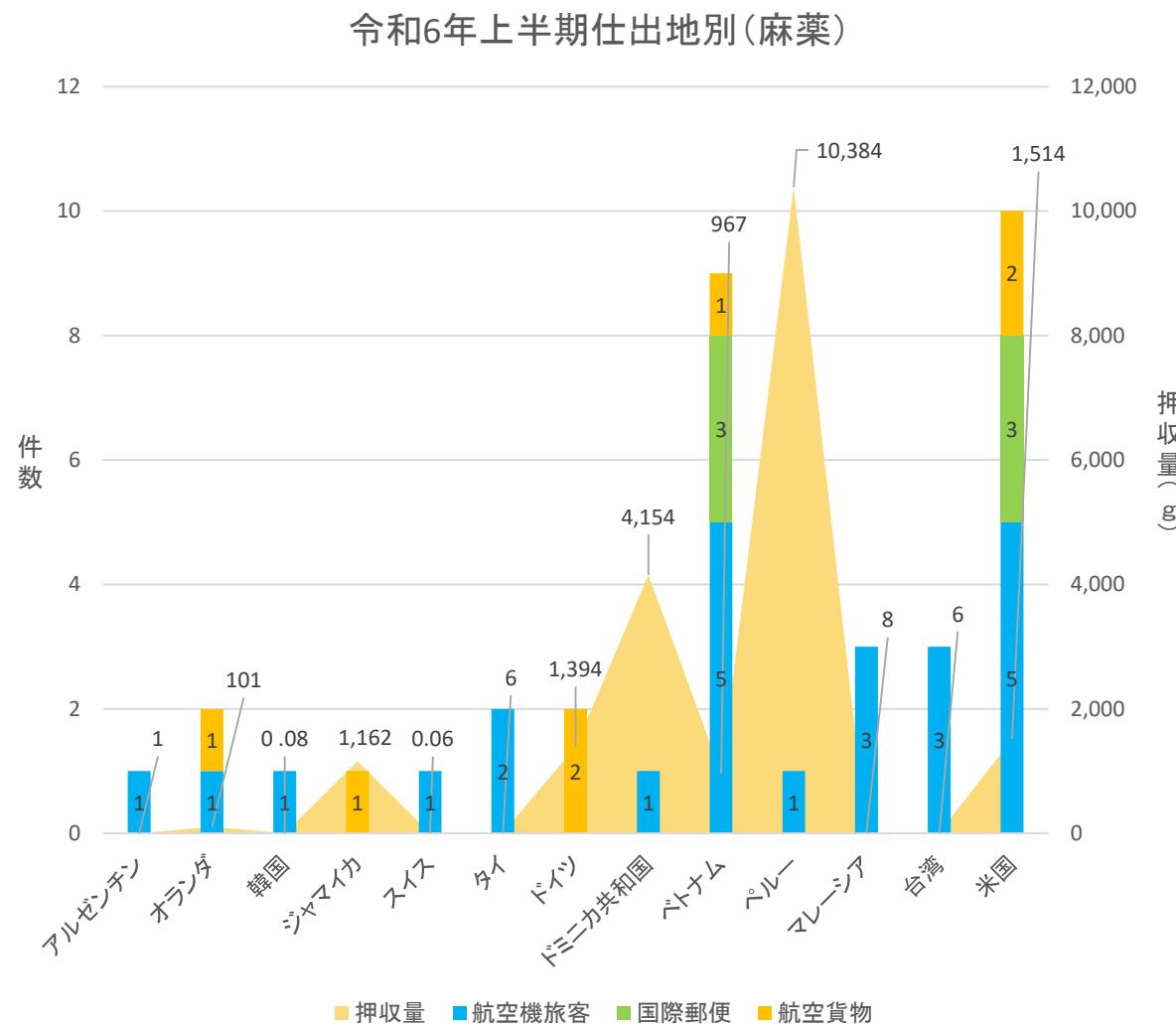


メイプルシロップに偽装し
プラスチックボトル8本に隠匿



麻薬事犯

押収量はペルー來が最多の約10kg、件数は米国來が最多の10件
～押収量、件数ともに航空機旅客による事案が大半を占める～



麻薬事犯（事例紹介①）コカイン

【令和6年3月・関西空港税関支署】



ペルー共和国来航空機旅客の手荷物から、缶詰24個内に隠匿された

コカイン含有液状物 約10キログラム を摘発



コカイン(液状物)



ベトナム来の国際スピード郵便物(2個口)から、鉄柱内に隠匿された

MDMA約500錠 、 ケタミン約80グラム を摘発



ケタミン(白色粉末)

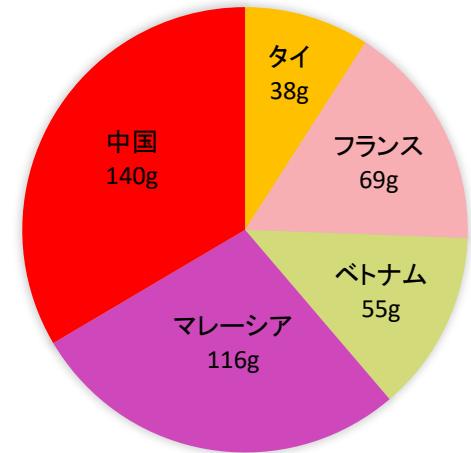
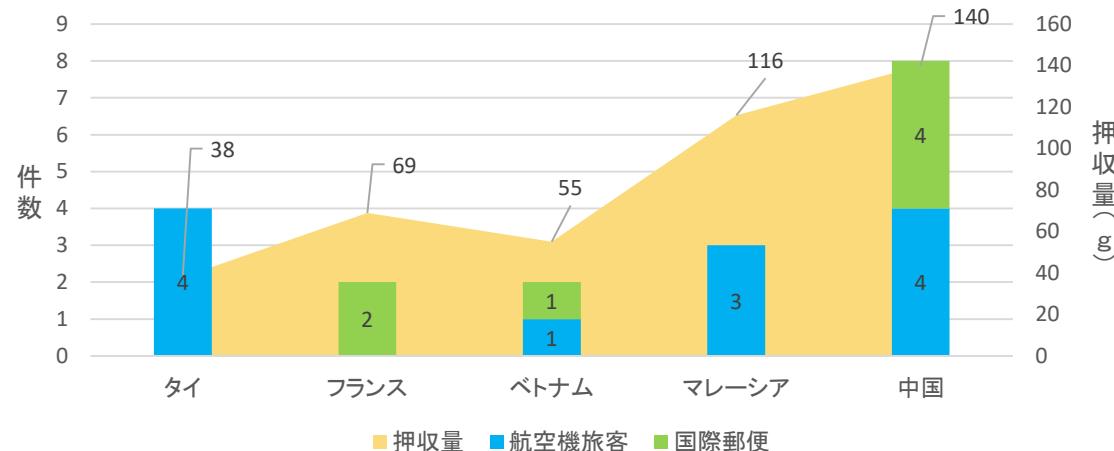


MDMA(灰色錠剤)

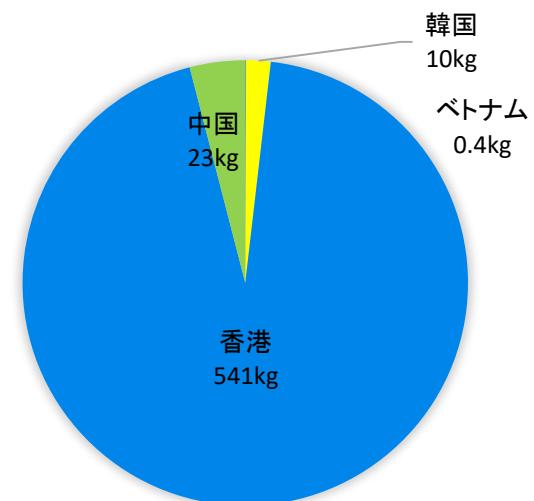
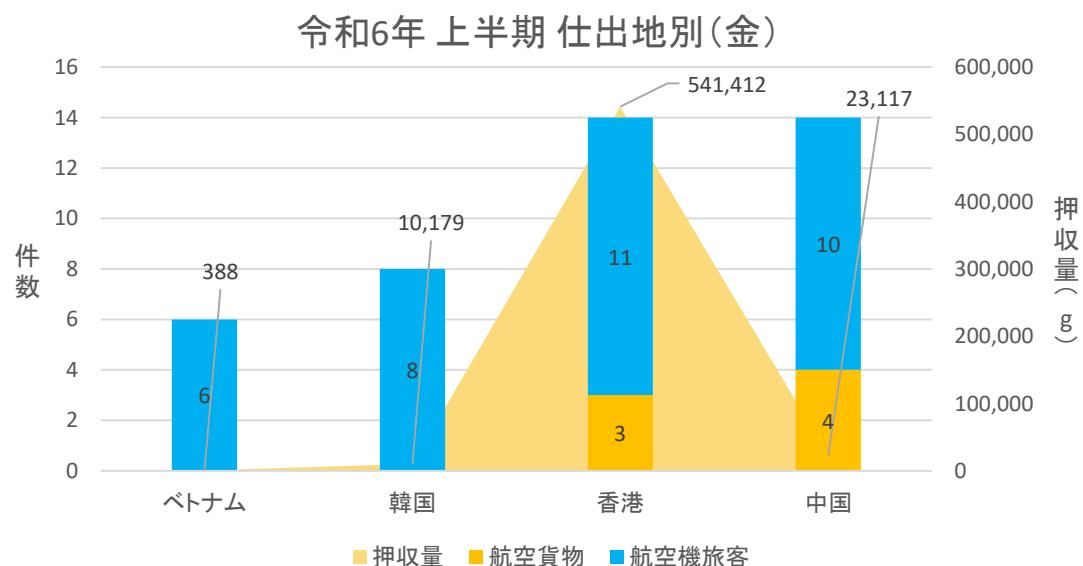
指定薬物 および 金事犯

件数・押収量ともに中国來が最多の8件(約140g)

令和6年 上半期 仕出地別(指定薬物)



押収量は香港來が最多の約541kg、件数は香港來・中国來がともに14件で最多



フランス共和国来郵便物からの指定薬物の摘発

ラッシュ（亜硝酸エステル系）



その他（事例紹介②）< 金 >

【令和6年1月、4月・関西空港税関支署】

①中国（香港）来の航空機旅客から、
粘土状の金 約3キログラム を摘発
(1月)

着用ブラジャー及び
ガードルに隠匿



②中国（香港）来の航空機旅客から、
棒状の金 約2キログラム を摘発
(4月)

スーツケースのスライド
部分に隠匿

